

生物多様性保全に関する マレーシア国サバ州野生生物局と旭川市旭山動物園との合意書

ボルネオ島の現状

生物多様性豊かなボルネオですが、熱帯雨林がアブラヤシのプランテーションにどんどん転換され、生息地が分断化されたためボルネオゾウやオランウータンなど野生生物には個体数の減少、遺伝子の多様性消失、生息地を追われた野生動物は農業被害を起こす問題なども急増しています。

また、日本は熱帯材、アブラヤシから採るパーム油などさまざまな資源をボルネオから輸入し、豊かで便利な生活を支えてもらってきました。本来はボルネオオランウータンやボルネオゾウなどの野生動物が受けていたジャングルの恩恵を、私たちが奪っているのです。現地の状況は私たちが招いたものともいえます。

日本を代表する動物園となった旭山動物園は、飼育動物とその故郷を結ぶ架け橋としての役割を具体的な形で目標として掲げ活動をしていきたいと考えています。

合意書の概要

今回のボルネオ生物多様性保全に関わる合意書の主要な骨子は、マレーシア国サバ州野生生物局と旭川市旭山動物園の双方の職員の能力開発、域内保全及び域外保全に関する情報の共有、サバ州にボルネオゾウを中心とした野生生物レスキューセンター（以下「WRC」という。）の設立を目指し、設立後の運営や教育的な普及啓発、種の保存への貢献に共に取り組んでいこうというものです。サバ州野生生物局、ボルネオ保全トラスト、ボルネオ保全トラストジャパンは共同でWRCの設立を目指しています。

WRCは以下の機能を持つ機関です。

- ）サバ州に生息するボルネオゾウ、オランウータンなどの野生生物の保護、治療、野生への復帰、移住を行う。
- ）WRCと甲による保全活動について、国民及び外国人訪問者に普及啓発を行う。
- ）域内保全及び域外保全について、サバ州以外の動物園とも経験や知識の交流を行う。

役割・目標

サバ州野生生物局によって行われる州政府は以下の役割を持ちます。

- ）WRCの設立及び管理に協力的な支援を行う。
- ）WRCや域内保全に関して、乙の職員が研修するときの便宜供与を行う。
- ）サバ州が選定した野生生物種の域外保全を積極的に支援する。
- ）サバ州が選定した野生生物種の域内保全において職員の交換や配置を支援する。
- ）WRCにおける関係に基づき、甲と乙は動物の交換、ブリーディングローンを促進する。

旭山動物園は、目標を達成するために、以下の役割を持ちます。

- ）WRCの設立及び管理に協力的な支援を行う。
- ）旭山動物園内で、サバ州野生生物局の職員が研修するときの便宜供与を行う。
- ）WRCにおける関係に基づき、旭山動物園とサバ州野生生物局における動物の交換事業、ブリーディングローン事業を行う。
- ）サバ州野生生物局の職員も含む、教育普及計画の策定を行う。
- ）WRCの設立のために、資金計画や募金計画のプラットフォームを提供する。

旭山動物園は、ボルネオ保全トラストジャパンの活動の中でレスキューセンターの設計、具体化するためのチームの編成、資金計画、募金計画などに中心的な役割を果たします。

今後の予定として、秋までを目途に、寄付型の飲料水自動販売機としてすでに具体化している募金活動により集まった資金で、プランテーションに進入したボルネオゾウを確保しジャングルに戻すための移動用の檻を制作し、現地に寄贈する予定です。